

小中一貫事例集第2弾

敦賀市教委作成全校で実践へ

小中一貫教育を推進する敦賀市教委は、教科ごと

全小中学校の授業で実践に完成している。各教科の中学3年時の課題を抽出し、その弱点

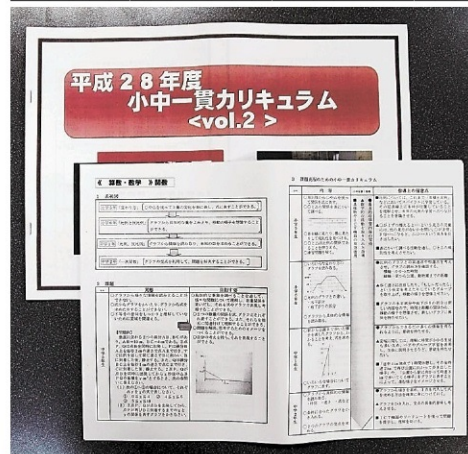
とに小学5年から中学2年まで長期的な視点に立った指導法を盛り込んだ事例集「小中一貫カリキュラム」の第2弾を作成した。本年度から市内のと

井大教育学部附属学園(福井市)との共同研究として、市内の小中学校の教科指導員・研究員がまと

め、第1弾は昨年11月「未知の古語があると読

み取ることをあきらめ脈から意味を類推できる」との課題に対し、文よ、作品の内容や背景

を考えさせる指導法を掲げた。



完成した敦賀市教委の「小中一貫カリキュラム」第2弾

本年度に委嘱された教科指導員・研究員約40人を対象にした研修会が12日に市役所で開かれ、第2弾をお披露目。事例集を使った授業を公開したり、他の教員に指導・助言したりすることなどを確認した。第3弾の作成にも取りかかり、9月の完成を目指す。

(青木伸方)